

男女共同参画社会の実現を考える

# アクト21

information

VOL.  
7  
2012  
November

〔特集〕

男たちよ 地域をもっと楽しもう

————— P.2~7



アクト21 事業レポート／コラム 落合恵子 ————— P.8

編集・発行／荒川区立男女平等推進センター（アクト21）2012年11月発行／登録(24)0038号  
〒116-0012 荒川区東尾久5-9-3 アクト21 TEL 03-3809-2890 FAX 03-3809-2891  
制作・印刷／（株）ドゥ・アーバン

# 男 たちよ

## 地域を もっと 楽しもう

みなさんは自分が住んでいる地域を楽しんでいますか？

男性の多くは、毎日職場と家との往復で、地域のことに関心が及ばないことが多いのではないのでしょうか。でも実は、地域には充実感をもって日々の生活を送ることができる要素がたくさんあります。

今号では、区内で活躍している「汐入父親の会」観光ボランティアガイド「尾久消防団」の3グループの方々にお話を伺いました。そこには、誰もが子どものころ体験した友だち付き合いのように、気軽に垣根のない「仲間の連帯」がありました。そしてこれこそが地域を支えている大きな力だったのです。

大きな声では言えませんが、自分から声を出して参加しているんですよ。

子どもたちを楽しませて自分たちも楽しもうをモットーに続けています！

プライベートも定年後も楽しめる地域との繋がりがありませんか？

子どもたちとふれあっていることが自然と清々しい気分になりますよ。



● 左から大峽さん(42歳)、高田さん(最高顧問)、伊藤さん(会長・50歳)、水谷さん(49歳)

### 汐入父親の会

みんな好きでやっています！

**子**どもたちを楽しませて自分たちも楽しむ」をモットーとして、南千住・汐入地区を舞台に活動する「汐入父親の会」。メンバーのお父さんたちは、「子どもの育成を見守る」活動を通して仲間を作り、地域との結びつきを深めています。

「具体的な活動内容は、両校の学校行事とPTA活動を手伝うことが基本ですが、会が独自に企画・主催するイベントもあります。たとえば、本業が左官業のお父さんの提案により始めた「どろだんご教室」は今年で開催5回目を迎えたと、盛況です。また、子どもたちに地域のことをもっと知ってもらおうと、地区内に点在する荒川区所縁の地やランドマークを、地域の隠しポイントに設定し、それを親子で一緒に探して回りポイントを競う「ロゲイニング」は、地図製作に詳しいお父さんの発案です。

登校する子どもたちの安全を見守る「あいさつ運動」も独自に取り組んでいる活動の一つです。

こうしたイベントへの参加は任意であり、また会の活動に上下関係はありません。参加したい人あるいは参加できる人が自らの意志で活動できるように運営されているのがこの

す。今回は4名のお父さんに、会の活動内容や魅力などについて、話していただきました。

#### 「汐入父親の会」とは

「汐入小学校の父親の会」が前身で、後に汐入東小学校が加わって現在の体制となり、すでに10年以上が経過します。メンバーは、現在両小学校に通う児童・生徒を子どもに持つ「お父さん」約50名で、中には自分の子どもが小学校を卒業してからもOBとして会の活動を支えている方も多くおられます。

#### 参加の動機は

この地区は他の地域からの転入者が多いのが特徴です。そのため夫婦・子ども共に近所に知り合いがない家族が多く、メンバーの中には「地域とつながるきっかけになれば」と考え、参加された方も多いそうです。でも、「子どものため、というより、自分が楽しいから(笑)」が本音のようです。

事実、地元知り合いが増え、地域とのつながりも深まったことはもちろんですが、会での活動が続いているうちに、たとえばジョギングや楽器演奏など共通の趣味を持っている仲間がいることを知り、「汐入ラン

会の大きな特長の一つで、みなさん、活動を続けていくためには常に新しい人の意見を取り入れつつ、連帯・連帯を深めていくことが大事だと考えています。

#### 参加したことで自身に生まれた変化は

新しい仲間ができ、知り合いが増えたことが一番のようです。他の地域から転入してこられたお父さんは、「この町が地元だなと実感できて、地域への愛着が以前より強くなった」といいます。また、あるお父さんは、「この地区には子どもが悪さをしているのと叱ってくれる大人がいる。自分もそういうときは『ダメだろ』と注意します。こういうことができるのが非常にありがたい。地域ぐるみで子どもを育てていると、強く感じる」と話します。

子どもたちを楽しませて、自分たちも楽しむ。仕事や家庭だけでなく、地域とつながりを持つことで日々の生活に充実感を感じていると、みなさん素敵な笑顔で話してくれました。



● 小学校や町会主催のイベントも手伝います(写真右・左上中) 「どろだんご」の色付け作業に夢中な子どもたち(左下)

**団体情報**

**活動内容**  
小学校の行事のお手伝いと、独自に主催するイベントの企画・運営など

**活動場所** 汐入小学校・汐入東小学校周辺

**会員人数** 50人(男性のみ)

**会員の年代層** 30歳代～50歳代

**汐入父親の会のブログ**  
<http://blog.goo.ne.jp/shiroyoyaji>



●月1回の連絡会、みなさん真剣な表情

●左から飯島さん、竹居さん、仁戸部さん、佐藤さん

## 観光ボランティアガイド

荒川区のまちあるきはおまかせください

### 荒

川区内の観光スポットや史跡・文化財などを区内外からの来訪者にボランティアで案内する「荒川区観光ボランティアガイド」。発足7年目を迎え、みなさん、自ら作った資料を手に各々独自の切り口で「地元あらかわの魅力」を案内しています。

今回、ガイド歴半年〜3年半の男

性4名が集まっていたとき、この活動に参加した動機や地域でこうした活動を行うことの意義などについて話していただきました。

#### 参加された動機は

活動を知ったきっかけは『区報』で、4名とも同じでしたが、実際に参加した動機は「歴史や文学に興味を持っていたから」「町歩きや旅が好き

## 尾久消防団

日々の訓練・強い絆が地域を守る

### 昨

年創設50年を迎えた「尾久消防団」。メンバーは10歳代の学生から主婦、60歳代後半のベテランまで層も厚く多士済々で、みなさん家族のような強い連帯感で結ばれています。今回、第五分団から6名の方々に集まっていたとき、消防団の魅力などについてお聞きしました。

#### 入団した経緯などは

みなさん先輩や知人からの紹介・勧誘で入団されたそうですが、入団までの経緯はさまざまです。

空き時間をボランティア活動にと考えていたところ「たまたま人に誘われて」「漫画やテレビドラマなどの影響で」、また「消防団の組織や制服に憧れて」入団したという方も。長年地域で商売をされていて、「地域を守るための役に立てるのなら」と考え入団した方もいます。

#### 活動を通じて得たことなどは

毎年行われるポンパ操作大会出場に向けた練習への参加は強制ではな

いものの、仕事を終えてから駆けつけるのに苦労されている方もいます。

一方、専門のレスキュー隊が使う、普通なら触れる機会さえない消防資機材を使えるのは、消防団員だからこそ味わえる「醍醐味」とのこと。

また、応急救護訓練や救助資器材取り扱い訓練等により、人工呼吸やAED（自動体外式除細動器）の使い方、ケガ人への包帯の巻き方や手当ての仕方なども習得できます。いつ誰に起こるか予測できない危機に直面した際、とっさに対処・行動できるのは普段の訓練の賜物。こうした成果を普段の活動等を通じて習得できることが、「(団員としての)やりがいにつながっている」そうです。

だから」とさまざま。共通しているのは、史跡などを自分で調べることを楽しみとしている点です。

ほかに、「大勢の人の前で話すのが苦手で、それを克服したかったから」とユニークな動機をお持ちの方や「退職後、家にばかりいたら太ってしまっ

て…(笑)」という方もいて、みなさん、いろいろな思いや、きっかけでこのボランティアに参加されたようです。

#### 楽しかったことや苦労したこと、印象に残ったこと

みなさん、ガイドをする前に何度も下見をし、「ここではこう話そう、それにはこういうことも調べておかな

くては」と綿密な計画を立てて挑んでいます。が、「当日、案内しようと思っていたその場所に車が止まってい

て、急きょ、変更！」ということもあるようです。

でも、ガイドを終えてお客様から「きょうはよかった、楽しかったです」と言われたとき、「やっぱりやってよかったと思うし、嬉しい」「緊張が解けて、ほっとする」と感じるの

は、みなさん同じようです。

ガイドとして活動するには養成講座の受講が必要です。受講後も、「最初のうちは先輩ガイドと一緒に歩い

て詳しくアドバイスしてくれるので、安心」とのことです。

この活動を通して

みなさん、自分の好きなことで人の役に立っていることに喜びを感じているようです。また、「友だちが増えた」という意見も目立ちました。これを機に仲間が旅行したり、ガイドを終えた後に一緒に食事したりと、プライベートも楽しんでいます。

ガイドの仲間とは、性別・年代を問わず友だちになれたのがよかったな、近所で会ってもフランクに声をかけてもらえるしね」との声も。男性にとって地域での新しい友だちというのは新鮮な感覚なのでしょう。

参加しようとしている方々へ

男性は新しいコミュニケーションに自ら入ることに苦手意識を持っているのかもしれない。が、「迷っている人はあまり深く考えずに遊びだと思って、まずは講座を受けてみてはどうでしょう。家に閉じこもっているよりは、一歩前へ踏み出した方がいいと思います」と実感のこもった回答に、ほかのみなさんも納得の様子でした。

生活の上での変化などは

自宅のガスの火を止めるときでも「指差し呼称」をするようになったし、「住宅用火災警報器をいち早く取りつけた」方もいます。

近辺に越してきたばかりのころは周りに知り合いが全くなかったという方は、入団して他分団の仲間や町会の方たちとコミュニケーションが取れたことで、人とのつながりも増え

密度も「とても増した」との喜びも。様々な職業の人たちと知り合え、またその年齢層も広いので、消防団活動以外の場でも相談に乗ってもら

えることもあるそうです。特に現在営業職の方は、そうした年上の人たちとの付き合いが「自分の仕事に活かしている」といいます。

入団を考えている方たちへ

「入ったからにはこうしなければいけないなどと重くとらえず、気楽に、自分ができる範囲で参加して欲しい」と話されていました。

「入団する際の1歩には勇気がいりました。が、先輩たちがとても親身に接してくれるので、今では活動が楽しいです」と語るのは6名中最年少の団員さんです。



●尾久消防団第五分団本部施設前で

●左から赤池さん、藤次さん、小野寺さん、岩淵さん、二瓶さん、渡邊さん

#### 団体情報

活動内容 ガイド活動(回数は各ガイドにより異なる)、月1回の連絡会、研修会  
活動場所 主に荒川区内  
会員の数 65名(30歳代~80歳代、男女比は1:1)  
参加資格 観光ボランティアガイド養成講座の受講が必要(毎年9月頃募集)  
担当部署 産業経済部観光振興課  
(☎03-3802-3111 内線461)



「男女共同参画週間」中の6月24日、アクト21では、ともにNPO法人ファザリング・ジャパン(「父親をもっと楽しもう」、以下FJ)のメンバーで、子育てに奮闘するパパを応援する村上誠さんと、「パパ料理研究家」の滝村雅晴さんのお二人によるトークセッション『仕事も育児も、これからの人生も！～子育てパパが、ママと子どもを笑顔にする』が開催され、約50人が参加しました。

Mr. Murakami

Mr. Takimura

【男女共同参画週間講演会】

# 仕事も育児も、これからの人生も！

～子育てパパが、ママと子どもを笑顔にする

■「家族のために」が「パパ料理」

滝村さんは、「パパ料理」を通して笑っているママや子どもを増やしたい」との思いから平成21年、「パパ料理研究家」として独立・起業。「パパが日常の家庭料理を作る世の中に」とも提唱し現在、各種メディアの企画運営も手がけて

「家族のために」が「パパ料理」

滝村さんは、「パパ料理」を通して笑っているママや子どもを増やしたい」との思いから平成21年、「パパ料理研究家」として独立・起業。「パパが日常の家庭料理を作る世の中に」とも提唱し現在、各種メディアの企画運営も手がけて

■自身の世界を広げる「イクジ」と「イクジイ」

村上さんは、平成21年、母親が病に倒れて要介護者となったのをきっかけに自らのライフスタイルを見直し、兼業主夫に。と同時にそれまで父親が参加していた地域活動を引き継いでいくうち、「子どもの発育と子育て期の親には、多様な人間関係が必要」と実感。今ではFJでの活動以外にNPO法人孫育てニッポンで理事なども務め、孤(子)育てから多(他)育ての重要性を訴えています。具体的には、祖父母世代をも巻き込んだ、多世代による育児参画・次世代育成に取り組んでいます。

村上さんはこの日、男親が育児をするだけでなく、地元のPTA活動や地域の防災などといった、横のつながりが必要な活動に積極的に参加することは、「自身の世界を広げ、人生を楽しくする」と強調しました。

さらに、祖父母世代が子育て(孫育て)に関わっていくことは、子どもの自立心の芽生えを促し、人間関係の幅も広がります。また、祖父母世代にとっては「地域に貢献している」という達成感が得られ、「セカンドライフの充実」につながります。こうしたセカンドキャリアを地域に還元することは、「シニア世代のエンパワーメントにつながる」。つまりは、これまで培ってきたスキル、経験の再活用ができるのではないかと呼びかけました。

「幸せの軸」をどこに持っていかを考えると大車だど、考えさせられました。これからは自分のことははっきりと、軸を家族に置き、他の人にも同じような気持ちで接していきたいと思いました。

講演会を聴いて参加者の声

区報で知って初めて参加しましたが、子どもが遊べるスペースが設けられていて、とても助かりました。機会があれば、また参加したいと思っています。

地域参加の最初の一歩として、パバスクールに参加してみたいか？

## あらかわパバスクール in 尾久

ママと子どもが通う、ふれあい館ってどんなところ？  
全4回のプログラムを通して、地域のパパとも知り合える！  
昨年、南千住で開催し好評だった「あらかわパバスクール」を今年は尾久地区で開催します。



▲ 昨年のパバスクールも大盛況

場所 尾久ふれあい館 対象 区内在住、在勤の0～2歳までのお子さんのパパ&ママ 定員 先着18名  
※詳しくは、男女平等推進センター(アクト21)まで、お問い合わせください

日時	パバプログラム	ママプログラム
<b>第1回</b> 11月17日(土) 10時15分～12時	<b>子どもの心がわかる パパになろう</b> 講師：星一郎先生 内容：アドラー心理学をもとに、子どもとの上手なコミュニケーションのとり方を学びます。	ママとお子さんで参加できます <b>オリジナル絵本作り</b> 講師：尾久ふれあい館職員 内容：お子さんの描いた絵を見て、お母さんがストーリーを作ります。世界に一つだけのオリジナルの絵本が出来上がります。
<b>第2回</b> 12月1日(土) 10時15分～12時	パパとお子さんで参加できます <b>パパの読み聞かせであつたか子育て</b> 講師：聞かせ屋。けいたろう先生 内容：読み聞かせのコツを、プロが伝授します。けいたろう先生の絵本ライブもあります。	<b>アロマ・ストレッチ</b> 講師：飯田さおり先生 内容：子育てで疲れているママのリラックスタイム。アロマの効用とストレッチで心身のリラックスをはかる講座です。
<b>第3回</b> 12月8日(土) 10時15分～12時	<b>子育てパパのワークライフ・バランス</b> 講師：村上誠先生 内容：子育てパパは、仕事も子育てもバランス上手。そんなパパの周りには笑顔が溢れます。ワークライフ・バランスの極意を兼業主夫の村上パパから学びます。	ママとお子さんで参加できます <b>野菜でスタンプ・エコバッグ作り</b> 講師：柳原絵夢先生・堀川由史先生 内容：野菜で作ったスタンプでエコバッグに模様をつけます。小さいお子さんも一緒に参加できます。 <small>材料費 300円</small>
<b>第4回</b> 12月15日(土) 10時15分～12時	<b>実践！パパ料理～パパが作るお弁当</b> 講師：滝村雅晴先生 内容：日本で唯一のパパ料理研究家滝村雅晴先生を講師に迎えてパパのための調理を実習します。お家に帰ってすぐに作れるメニューです。 <small>材料費 500円</small>	ママとお子さんで参加できます <b>ベビーサイン</b> 講師：井上千恵子先生 内容：赤ちゃんの気持ちを考えながらサインで会話する、まだ言葉をうまく話せない赤ちゃんに、手話やジェスチャーを使ってコミュニケーションする育児法を楽しく学びます。

### 地域で活動したい方！

気軽に  
お立ち寄りください！

## 荒川区社会福祉協議会 あらかわ地域活動サロン ふらっと.フラット

福祉・環境・文化・生活など、さまざまなボランティア・市民活動を応援します。多様な活動の相談やコーディネート、社会人・団塊世代を対象とした各種講座や地域活動入門講座を実施しています。

趣味をお持ちの方、仕事を含め様々な経験や技術をお持ちの方、得意な分野を活かしてあらたな仲間との出会いの「場」を一緒に創っていきませんか。

開所日時 【毎週火・水・金】13:00～21:00  
【毎週土】10:00～18:00

利用案内 ボランティア・市民活動についての情報提供及び相談、研修・講座の開催、ミーティングスペースの提供など

〒116-0002 荒川区荒川3-49-1 荒川区生涯学習センター1階 ☎03-3891-8571 FAX 03-3891-8572

## アクト21交流のつどい ～交流都市の福島市を応援しよう～

共催：荒川区女性団体の会  
日時：平成24年3月3日(土)

平成23年度は、交流都市・福島市の「震災復興支援」をテーマに掲げて開催しました。講演会では、ふくしま女性起業研究会代表の安齋さと子氏をお迎えし、「農家の家族経営協定」について講演いただきました。また、福島のリンゴを使った「アップルパイづくり」や「バスタオルで作る緊急持ち出し用防災頭巾」などのワークショップも開催しました。このほか、男女平等推進団体によるダンスなどの発表・作品展示も行いました。



▲農家の妻・母そして経営者である安齋氏の言葉に、みなさん聴き入っていました。



▲丹誠込めて育てたリンゴを使って、生産者直伝のパイ作り！

▶できあがったばかりのアツアツのアップルパイ



## 女性の生き方講座 ～ふと考える私のこれからの人生～

共催：ゆきやなぎの会  
日時：平成24年2月24日(金)～3月16日(金) 全4回

講師：さいたま市女性学研究会 下村美恵子氏  
内容：女性学の視点から、参加者が自らのライフサイクルについて考え、「今の自分」を見つめ直すワークを行いました。男女共同参画社会について学び、参加者同士が「自分らしく生きること」について考え、各会のテーマごとに意見を交換しました。

## 女性のライフ・マネーマネージメント 入門講座

日時：平成24年3月7日(水)～21日(水) 全3回

講師：2級キャリアコンサルティング技能士 栗原知女氏  
内容：仕事のこと、自分自身のこと、そしてお金のこと。これからの「わたし」に何が 필요한のか？という問題提起から、お金を管理する力と、人とつながる力を高めるための実践的な手法までを学びました。

## アクト21 事業案内

### アサーティブ・トレーニング講座

日時 平成25年1月下旬～2月 全3回  
18時～(予定)

自分も相手も大切にするコミュニケーション、それがアサーティブ。この講座では、状況を設定してロールプレイを繰り返しながら、自分の感情や思いに気づき、それを上手に伝える方法を学びます。

### アクト21(荒川区立男女平等推進センター)

〒116-0012 東京都荒川区東尾久5-9-3  
☎ 3809-2890 ☎ 3809-2891

- 開館時間/9:00～22:00 ●休館日/12月29日～1月3日および保守点検日など
- アクセス/都電荒川線、日暮里・舎人ライナー「熊野前」駅より徒歩約3分  
都バス「熊野前」より徒歩約1分



## 本という処方箋

男女共同参画を気持ちよく深めるために  
文 二落合恵子

このところ、学生時代の仲間からのメールが増えている。女性たちとは卒業以来、連絡が途絶えることはなかったが、男性たちからのそれは、明らかにある年代を越えてからが多い。おおかたは定年を迎え、地域社会に「戻ってきた」彼らである。

女性は全日制の地域住民であり、男性の場合は定時制の地域住民である……。そんなことが以前よく言われた。が、腰を据えて全日制の住民となり、地域に新しい風の通り道を作り、むしろ自分自身も快適に隣人たちと共に歩みたいと願う男性たちは少なくない。そのためにはまず、生活者であることではないか。肩の力を抜いて、取り組みたいことはたくさんある。地域は「あなた」の参加を待っている。わたしたち女性も心から WELCOME! 主役は、ひとりひとりの「あなた」!



『男の育児書』  
男の子育てを考える会/著  
現代書館



『地震からわが子を守る防災の本』  
国崎信江/著  
内野真/絵  
発行/編集工房一生社  
販売/リベルタ出版

おちあいけい◎作家・クレヨンハウス代表。最近の主な著書に『母に歌う子守唄』『母に歌う子守唄・その後』『絵本処方箋』(いずれも朝日新聞社)、『崖っぷちに立つあなたへ』(岩波書店)。5月に『積極的その日暮らし』(朝日新聞社)、8月末に『自分を抱きしめてあげたい日に』(集英社新書)、10月のはじめに、『てんつく怒髪』(岩波書店)を刊行。『自分を抱きしめてあげたい日に』は、いま疲れているあなたに向けての一冊。



『男の料理  
カンタンおいしいオヤジの味』  
島根県・川本町お父さんの料理教室/著  
ワン・ライン



『マジでガちなボランティア』  
石松宏章/著  
講談社文庫